

# No.1 高圧気中負荷開閉器(PAS・SOG)の設置・更新のお願い

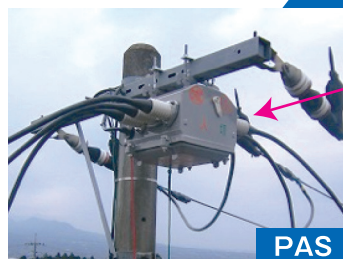
更新推奨年 10年

## PASの重要性とは

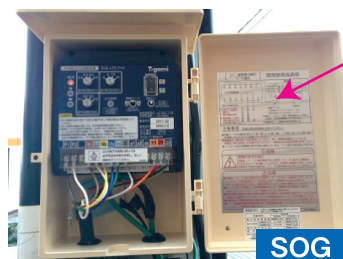
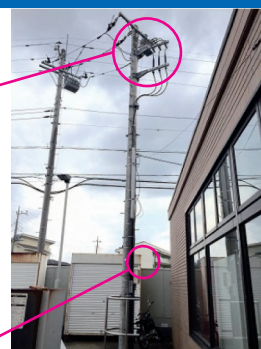
高圧受電の事業場で電気の事故が起きた場合、自事業場だけでなく、周辺一帯を停電させてしまうことがあります。こうした波及事故を防ぐのが、異常を感知して送電線との接続を自動で遮断する高圧気中負荷開閉器(PAS)です。

PASは、経年劣化などにより正常に機能しない場合に波及事故を防ぐどころか、波及事故の原因となることもあります。またSOGも同様に経年により機能は劣化し、誤作動などを引き起こします。

※ここでいうSOGとは、過電流ロック形地絡継電器を指します。高圧側の漏電検出器でPAS等の開閉器に命令を出します。



PAS



SOG

※PAS、SOGは更新推奨年が10年です

## 計画的な更新で事故を防止

関東東北産業保安監督部の統計データによると、PAS設置後10年を経過すると事故の発生が増加する傾向にあります(右図)。

PASは設置環境や開閉動作回数などによって、設備更新の目安が異なります。電気主任技術者にご相談の上、適切な時期に設備更新を行ってください。

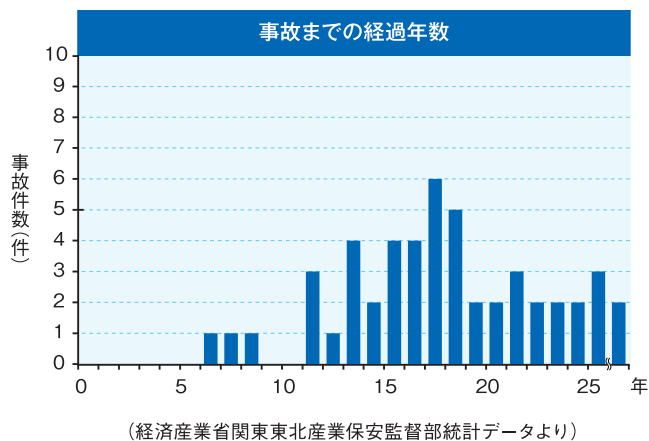
更新を怠った結果、こんな事故も・・・

## PAS劣化による波及事故

- 発生日時：2016年5月
- 発生場所：関東地方
- PASの製造年：1997年1月(製造から19年経過)
- 事故原因：

経年劣化によりVT(計器用変圧器)が焼損し、波及事故となった。停電作業が終了した後、復電作業のためPASを投入させたところ、異音とともにすずが発生。周辺を停電させる波及事故を起こしてしまいました。

工事会社が駆けつけ、復旧するまで約1日を要しました。



(経済産業省関東東北産業保安監督部統計データより)

